

計測検査株式会社

インフラやプラントなど、さまざまな構造物の維持管理や非破壊検査において、多角的な視点で課題を捉え、保有する多様な技術からより適切な検査方法を提案する会社。技術職のため以前は男性社員が多かったものの最近では女性社員が増加しており、女性活躍推進の取組を積極的に行っています。

〒807-0821 北九州市八幡西区陣原1-8-3
TEL 093-642-8231

<https://www.keisokukensa.co.jp/>



Leader's voice

男性中心の業界だったからこそ、女性の活躍がカギに

周囲からの提案を受け入れ 社長としてやるべきことをやる

当社の総務部長は女性なんです。彼女が部長になって以来、女性が働きやすい職場づくりのためのアイデアがどんどん出てくるようになりました。そうした周囲からの提案に対し、私が「No」という理由はありません。技術者が多く男性中心だった業界だからこそ、女性の活躍で組織の可能性が広がります。決して無理強いはいできませんが、今後は女性リーダーや管理職として活躍する人材を増やしていくのが目標です。

「お互いさま」の心で支え合い 誰もが力を発揮できる環境へ

急な休みにも柔軟に対応できる勤務体制や、育児・介護休暇制度の取得促進など、さまざまな取組を行っていますが、大切なのは制度よりも文化。女性・男性関係なく社員



同士が自然に支え合う「お互いさま」が息づく場所で、一人ひとりが自分の力を発揮し、成長できることが大切です。つまり、女性活躍推進は“特別な取組”ではなく“社員力の向上”そのものだということ。私のモットーである「人にやさしい経営」を続けながら、これからも多様な人財が生きがいを誇りを持って働ける会社づくりを進めていきます。



計測検査株式会社
代表取締役
坂本 敏弘 さん

Woman's interview

働く女性の声



人を大切にする社風に 女性でも不利にならない 配慮をプラスした会社

計測検査株式会社 メンタルヘルス推進室 室長 渡邊 沙樹さん

「女性の働きやすさ」について 貴社の現在の環境はいかがですか？

「人を大切にする風土」があり お互いさまの精神で支え合える

入社して10年以上が経ちますが、当時と比べると女性社員がずいぶん増えました。男女関係なく募集しているのですが、近年は女性からの応募が多いので、これからどんどん増えていきそうで嬉しいですね。

女性が少ない頃から社内には男女問わず人を大切にする風土があり、子どもがいる女性社員を周囲が嫌な顔ひとつせずサポートする様子も見えてきたので、「どこの会社もこんな感じだろう」、「育児中の女性をサポートするのは当たり前だろう」と思ってしまうくらい…。ニュースで子どもが病気でも休みづらい、周囲の理解を得られないという現状を知ったり、友人から会社の悩みを聞く度に、「そんな会社があるんだな」と驚いていました。

女性活躍推進という視点から 貴社で働く魅力は何ですか？

女性だから不利になることはゼロ 男性の理解を得るための取組も

まず大きいのは、「女性だから」という点でマイナスになることはなく、誰もが働きながら成長できること。産休・育休はもちろん、希望



仕事のやりがいや今後の目標、 取り組んでいきたいことは？

「お互いさま」の環境を大切に 一人ひとりの心身を守りたい

女性が活躍できる職場づくりを推進してきたのは私の上司である女性なのですが、彼女が10年前に立ち上げたのが、私が室長を受け継いだ『メンタルヘルス推進室』です。彼女は以前、体調を崩して一度会社を退いた経験があったので、「誰もがリタイアしなくても良い職場環境をつくりたい」とメンタルヘルスを学び、メンタルヘルス推進室を立ち上げたといいます。それだけでなく、同時に障がい者雇用についても学び、研修を活発に行って障がい者雇用も実現したんです。そういった取組からも、「お互いさま」という気持ちや思いやりが会社の風土としてさらに定着してきたと思っています。例えば私が体調不良で突然休んでも、普段から困らないための工夫がしてあるだけでなく、誰かがやさしくフォローしてくれるんです。だからこそ、逆の時には自分もそういう人でありたいと思うことができる。その環境をこれからも守っていけたらと思っています。

